

# 平成30年度 決算の状況

平成30年度の決算は、9月～10月に行われた市議会審査で認定を受けました。市民の皆さんが納めた税金や、国・都からの補助金などが、皆さんの暮らしやまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

## 一般会計は収入・支出とも増加

市の会計は「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。このうち、一般会計・特別会計の決算状況は下の表のとおりです。

一般会計は、行政を運営するために必要となる基本的な収支を管理している会計です。収入は44億6772万円、支出は428億5601万円でした。29年度と比べると、収入は地方消費税交付金や国庫支出金が減少したものの、繰入金や市税などが増加したことにより、21億1764万円(5.0%)増加しました。

支出は、教育福祉総合センター整備事業などの教育費が増えたことにより、15億6465万円(3.8%)増加しました。

## 支出額は市民1人当たり37万8537円

一般会計の支出額を市の人口11万3215人(31年1月1日現在)で割ると、市民1人当たり37万8537円の支出をしたこととなります。その内訳は、左の図のとおりです。

性質別に見ると、教育福祉総合センター整備事業などの普通建設事業費や、公共施設設備等資金積立基金などへの積立金が

## 財政力指数と経常収支比率の推移

財政力指数とは、行政を運営するために必要なお金を地方公共団体がどの程度自力で調達できるかを示す指数です。数値が高いほど財源にゆとりがあることを示します。1を下回ると財源不足となり、それを補うために国から普通交付税が交付されます。

経常収支比率とは、市税のよ

## 市税収入は増加

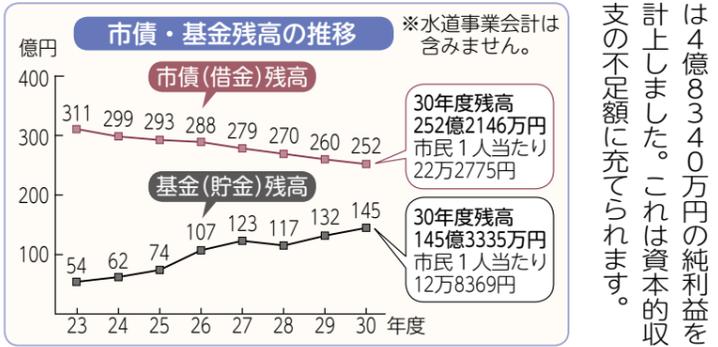
市税収入は19億4743万円、29年度と比べると6億820万円(32%)増加しました。30年度は、市たばこ税の収入が減ったものの、企業収益の増加による法人市民税の増収などにより、市税全体としては収入増となりました。

また、市税の収納率は、コンビニエンスストア収納やクレジットカード収納の実施、休日窓口の開設などに引き続き努めた結果、市税全体で98.5%と、29年度に比べて0.5ポイント上昇しました。

## 支出額を市民1人当たり換算した額は37万8537円

目的別に分けると		
民生費 18万2979円	教育費 5万9418円	総務費 4万6782円
障害者・高齢者福祉、児童福祉、生活保護など	小・中学校教育、社会教育、公民館活動など	庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、住民登録など
衛生費 2万8968円	土木費 2万1204円	公債費 2万1011円
ごみ処理、保健衛生、予防接種など	道路管理、公園整備、市営住宅の維持管理など	市債(市が借り入れたお金)の返済
※その他(消防費、議会費、商工費、労働費、農林費) 1万8175円		

性質別に分けると		
扶助費 13万252円	物件費 5万5389円	人件費 4万8114円
生活保護費、児童手当、保育所運営費など	賃金や委託料、公共施設の管理費など	市長や市職員の給料、議員・委員報酬など
繰出金 4万852円	普通建設事業費 3万9092円	補助費等 2万7526円
国民健康保険、下水道事業など特別会計へ支出される経費	道路の新設・改良工事費、校舎の改築工事費など	東京消防庁への消防事務委託金など
※その他(公債費、積立金、維持補修費、貸付金) 3万7312円		



以上が30年度決算の状況です。主要な財源である市税収入の大幅な増加は見込めない財政状況の中、事務事業の見直しなどにより財政の健全化に努めながら、暮らしやすいまちづくりのために、予算に定められた事業を執行しました。

今後、さまざまな市民サービスの維持・向上のために、限られた財源を有効に活用するよう努めていきます。

☆一般会計・特別会計については財政課、企業会計については水道部業務課 ☎5436111へ。

### 平成30年度一般会計・特別会計の決算

	最終予算額	収入額	支出額	収支
一般会計	445億7152万円	447億6772万円	428億5601万円	19億1171万円
特別会計				
国民健康保険	120億9784万円	122億6716万円	119億3860万円	3億2856万円
介護保険	91億1302万円	88億9855万円	87億3654万円	1億6201万円
後期高齢者医療	24億3371万円	24億4407万円	24億1016万円	3391万円
下水道事業	32億6806万円	31億8378万円	29億3523万円	2億4855万円
中神土地区画整理事業	3億3909万円	3億2313万円	3億2164万円	149万円
合計	718億2324万円	718億8441万円	691億9818万円	26億8623万円

※企業会計(水道事業会計)は3ページに掲載しています。

### 市税収入の内訳

市民税		固定資産税	
個人市民税	70億3769万円	法人市民税	17億4093万円
都市計画税	15億3745万円	市たばこ税	7億4599万円
		軽自動車税	1億2332万円
合計額 198億4743万円(市民1人当たり17万5307円)			

## 平成30年度に行った主な事業

～第五次総合基本計画(ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま)の着実な推進のために～

<b>明るい地域社会の形成</b> 防災行政無線等デジタル化 2116万円 避難行動要支援者管理システム導入 803万円 全国瞬時警報システム新型受信装置購入 227万円 高齢消費者被害防止用自動通話録音機購入 66万円		<b>循環型社会の形成</b> 省エネ家計簿システム導入 353万円 外国語版「資源とごみの分け方・出し方」作成 103万円 せん定樹木等ウッドチップ化事業 42万円
<b>産業の活性化</b> 昭島市民くじら祭大くじら作成 1928万円 二市連携結婚活動支援 499万円 観光マップ作成 200万円		<b>快適な都市空間の整備</b> 都市計画道路3・4・1号整備 1億7890万円 東中神駅自転車等駐車場整備 9353万円 クリーンセンター敷地有効利用 7469万円 都市計画マスタープラン策定 97万円
<b>健康と福祉の充実</b> 保育園新築工事費補助 2884万円 保育所等における児童の安全対策強化事業 849万円 子ども・子育て支援事業計画策定 336万円 自殺対策計画策定 308万円 在宅療養推進事業補助 130万円 電子母子手帳システム導入 19万円		<b>教育・文化・スポーツの充実</b> 教育福祉総合センター整備 20億4452万円 伝統文化継承環境整備 1億5298万円 スクール・サポート・スタッフ配置 623万円 アキシマクジラ学名付与記念事業 320万円
<b>計画実現のために</b> 公式キャラクターグッズ作成 281万円 ふるさと納税推進事業 202万円 オリジナル婚姻届・出生届作成 132万円		

### 平成30年度水道事業会計の決算

	収入額	支出額
収益的収支	17億753万円	13億1934万円
資本的収支	1億108万円	587万円
負担金	4507万円	建設改良費 4億8846万円
補助金	0万円	企業債償還金 3366万円

※消費税を除きます。

- 〔用語説明〕
- ①複式簿記Ⅱひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法
  - ②収益的収支Ⅱ収益・費用に関する会計で、利益または損失を明らかにする
  - ③資本的収支Ⅱ資産・負債・資本に関する会計で、水道施設への投資額や企業債の増減を明らかにする